令和8年10月16日(金)定例記者会見録
「ミッション型地域おこし協力隊の募集」ほか

大久保市長
皆さんおはようございます。
１０月の定例記者会見です。
今回は６つの項目についてお知らせします。
その前に、令和１０年の秋に開校予定の諫早市初の小中一貫の義務教育学校である小長井学園、その校歌をお父様が小長井町出身でシンガーソングライターの林田健司さんに作成を依頼してます。
一昨日（１０月１４日)、林田健司さんが小長井の小学校と中学校それぞれで子どもたちと交流していただいて、歌詞のイメージの題材にされるということで、非常に元気な子どもたちに囲まれて、すごくいいイメージが湧かれたのではないかと思います。
また取材では、ちょっとおしゃれな校歌にしたいと言われてましたので、非常に楽しみにしています。

１つ目です。
ミッション型の地域おこし協力隊の募集です。
現在諫早市には８名の地域おこし協力隊が活動しています。
そのうち７名は各支所地域などでそれぞれ活動しています。
１名はスポーツによる地域活性化を目指して活動されています。
今回は新たに３名、このミッション型の地域おこし協力隊を、すでに募集開始していますが、いずれも今年度中の任用を目指したいと思っています。
1人目は、こどもの城で１名考えています。
諫早にあるこどもの城の魅力を発信していただくということです。
まだご存じない方もいらっしゃるのでどんどん認知してもらって、利用されるきっかけを作っていただければと思っています。
こどもの城では職員と一緒に体験型活動プログラムを企画したり、教育関係や子育て支援関係者の方と連携し、さらなる子育て支援の充実につなげていく目的で募集します。
２人目、有害鳥獣対策のため農林水産部有害鳥獣対策課で１名です。
有害鳥獣として捕獲されるイノシシなど、野生の鳥獣を地域の食として地産地消をプロプロデュースしていただく隊員の募集です。
現在諫早市内では年間３，０００頭のイノシシが捕獲されていますが、そのうち有効に利用されているのは約１割ということで、新たな隊員の方には有害鳥獣の捕獲や解体加工といった現場経験を積みながら、諫早ジビエをテーマにした魅力発信やイベントの企画・飲食店での利用拡大など多彩な活動にチャレンジしていただきたいと思います。
同じく農林水産部林務水産課で１名募集します。
諫早市は有明海・大村湾・橘湾の３つの海に囲まれ、港町の資源を生かした海業（うみ

ぎょう)・水産業での地域活性化を目指すということで、そうした活動に特化した隊員の募集です。
ぜひ皆さんのお知り合いで都市部にお住まいで、こどもの城や有害鳥獣、海業・水産業に興味を持たれる方がいらっしゃいましたらぜひご紹介していただければと思います。

次に小長井牡蠣加工品レシピコンテスト２０２６です。
ここに９品目あります。
今回、諫早湾漁業協同組合が初めて企画して、小長井牡蠣の加工品を使った料理のアイデアレシピを募集します。
諫早市も後援をして、１１月２３日に決勝大会を実施します。
私も審査員として出席する予定です。
対象となる加工品は華漣という日本一になったブランド牡蠣のオリーブオイル漬けや、小長井牡蠣カレー、オイスターソースなど直接味わうのももちろんいいんですがさまざまな料理の食材、あるいは調味料として活用していただき、そして多くの方に料理作りにチャレンジしていただきたいと思います。
応募期間は１０月３１日までです。
皆さまからの多くのご応募・ご参加お待ちしています。
部門が２つ分かれていて、家庭で楽しむ部門とおもてなし部門ですね、お客様をもてなすときの部門ということで、２の部門に分けて９品目を使った料理レシピでコンテストを開催します。

今回初めて開催されるインフラツーリズムです。
現在諫早市では、一級河川本明川の上流で国土交通省が直轄で本明川ダム建設事業を行っています。
本体工事にも入っています。
諫早市と国土交通省の本明川ダム事務所と県営バスが連携してインフラツーリズムという１日の見学バスツアーを組まれています。
１０月２４日です。
今しか見られないような大型事業の現場を直接見ることができるということです。
掘削の現場や転流水路という（川の）流れを少し変えるようなところ、工事現場には公道を走れないような大きな重機があります。
そういうものを間近に見られるのは、今しか経験できないことです。
食事は楽焼うなぎで、会費は大人（中学生以上）が７，９００円、小学生が５，８００円ということです。
おかげさまで多くの応募をいただき締め切ったということですが、令和１０年完成です

から、それまではその段階において国が直轄で行っている大型事業のインフラツーリズムの中でいろいろな企画をされるだろうと思いますので、また機会がありましたら、応募していただければと思います。

いさはや灯りファンタジアＦＩＮＡＬ（ファイナル）です。
今回が最後になります。
諫早市の冬の風物詩になりましたいさはや灯りファンタジアですが、１１月２１日と２２日の２日間、市役所前の中央交流広場と本町ポケットパークで開催されます。
今回は灯明地上絵のモチーフとしてペガサスが登場します。
また諫早おもてなし大使のうないさんは、この灯りファンタジアで誕生しました。
そういったバースデー祭やグルメ、多彩なステージなどが予定されています。
イルミネーションは年が明けて来年の１月３日までお楽しみいただけます。
なぜ今回がファイナルかというと、会場となる市役所前の広場で今後は（仮称）市民交流センターの整備を進めていくということで、今回一区切りをつけるということです。
これまで多くの皆さまに親しまれてきたイベントですので、ぜひファイナルのいさはや灯りファンタジアをお楽しみいただきたいと思います。

５つ目は、令和８年度市川森一記念文化講演会です。
諫早市出身のシナリオライター市川森一氏の偉大な功績をたたえ、市民の皆さんに幅広い文化に触れていただくことを目的に毎年開催しています。
今回は１１月２９日（日曜日）１３時３０分から諫早文化会館の大ホールで開催します。
ゲストはカンニング竹山さんです。
テーマは「人に話す、人の話しを聞く大切さ」で講演をしていただきます。
そして講演の後には市川森一さんの奥さまの柴田美保子さんとトークショーということで、対談を予定をしています。
入場無料・全席自由席となっています。
当日は手話の通訳や託児の対応も行いますので、ぜひ多くの皆さんにご来場いただき楽しいひとときを過ごしていただきたいと思います。

最後は土木の日関連イベントです。
１１月１８日が土木の日です。
漢字の「土」が（分解すると）「十一」、「木」が「十八」になります。
全国各地で土木に関するイベントが展開されています。
長崎県の実行委員会が主催する土木現場見学会は１１月８日に上山公園北駐車場を出発

して本明川ダムや島原道路の工事現場を見学します。
長崎県建設業協会諫早支部が主催する、土木の日 親子ふれあいフェスタ in 県央諫早は１１月１４日に市役所前の中央交流広場で行われます。
長崎亭キヨちゃんぽんさんが来られます。
私もこの間取材を受けて４０年ぶりにボクシングをやりました。
ＹｏｕＴｕｂｅに上がっていますのでご覧いただきたいと思います。
市役所前の広場で建設機械に乗ったり、ミニバックホウによるお菓子すくいなど子どもから大人まで楽しめる企画を長崎県建設業協会諫早支部の皆さんの主催で開催します。
入場料・参加料は無料です。
ぜひご家族で楽しみながら土木に対する認識や理解を深めていただきたいと思います。

お知らせの項目は以上ですが、先月の定例記者会見でお知らせしましたアメリカ合衆国テネシー州アセンズ市と姉妹都市締結４０周年記念訪問事業ということでいよいよ１８日から出発します。
今回私たちは、議会を代表しての議長と各分野の皆さんから募った訪問団で活発な意見交換をしてきたいと思います。
もともと諫早市とアセンズ市との間で文化・教育・経済分野における交流促進を４０年間続けてきました。
これから特に若い世代で、国際交流を担っていく若い人たちの担い手育成に向けた協議を行っていきたいと思います。
帰国したらご報告させていただきます。
以上で私の方からの説明に代えさせていただきます。
ありがとうございました。